

# 豊浜の子 明るく正しく強く

学校教育目標

## 挑戦し 高め合う子

### 一歩前へ ナイストライ 振り返り

令和2年2月3日(月) 2月朝会 校長の話

2月の月の目標は「関わり合って学びを深めよう」です。

この目標を達成するため、皆さんにお願いがあります。授業のいろいろな場面で「対話」に挑戦してほしいのです。今年度、豊浜小の先生たちは、授業の中に「対話」の活動を取り入れていこうと相談しました。それでは、「対話」とはどんなものなのでしょうか。



「対話」とは、自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりするだけでなく、友達の考えを聞いたからそれに対する自分の考えを返していくことを言います。そして、互いに伝え合い、話し合い、意見をまとめていくのが「対話」です。

言葉だけではよくわからないと思いますので、今から5年生の皆さんが、3つのグループに分かれて劇をしてくれます。1番から3番のうち、「対話」をしているのは何番の人たちか考えてください。

5年生の家庭科の授業です。今日の学習のめあては…

「服を重ねて着ると、なぜ暖かく感じるのだろうか。」 です。考えを発表してください。

#### 1番

- A 「外から見た感じで、たくさん着た方が暖かそうなので重ねればいいと思います。」
- B 「何となくだけど、たくさん着た方が暖かいと思います。」
- C 「夏は服が少ない方が涼しいので、反対に冬はたくさん着れば暖かいと思います。」



#### 2番



- D 「重ねて着ると体の熱が逃げにくいから暖かいのだと思います。」
- E 「重ねた服と服の間に、熱がたまるから暖かいのだと思います。」
- F 「外の冷たい空気が中に入りにくいので、暖かいのだと思いました。」

#### 3番

- G 「服を、重ねて着ると体の熱が逃げにくいから暖かいのだと思います。逆に、夏は体の熱を逃がしやすいように、薄着をするのだと思います。」
- H 「今のGさんが言ったことと似ているけれど、服と服の間の空気に熱がたまるので暖かいと  
思います。夏、薄着をするのは、熱をためないようにして、涼しくするのだと思います。」
- I 「今の二人の意見は、とても関係があると思います。Gさんが言った熱とHさんが言った熱は、もともと体から出たのだから同じものだと思います。」
- J 「Iさんの意見に賛成です。4年の理科で、熱は、水や空気、金属などの中を伝わっていくことを勉強しました。だから、この問題も、熱の伝わり方で考えたらどうでしょうか。」
- G 「そうしましょう。」
- H 「その考えに賛成です。」
- I 「いいですね。でも、家庭科の問題が、理科と関係あるとは思わなかったです。」



1番から3番のうち「対話」をしていたのは何番のグループでしょうか。聞いてみましょう。  
1番だと思う人。 2番だと思う人。 3番だと思う人。 そうですね3番の人たちです。

1番の人たちは自分の考えを言うだけでした。2番の人たちは自分の考えとその訳も発表していました。3番の人たちはそれだけでなく、友達の意見につなげて自分の意見を発表し、出された意見をまとめようとしていました。それが「対話」なのです。素晴らしい劇をしてくれた五年生の皆さんに、大きな拍手をお願いします。

2月の授業では、相手の考えをまずよく聞き、それにつなげて自分の考えを伝え、そしてみんなの意見をまとめていく、そんな「対話」をする皆さんの姿が見られることを楽しみにしています。

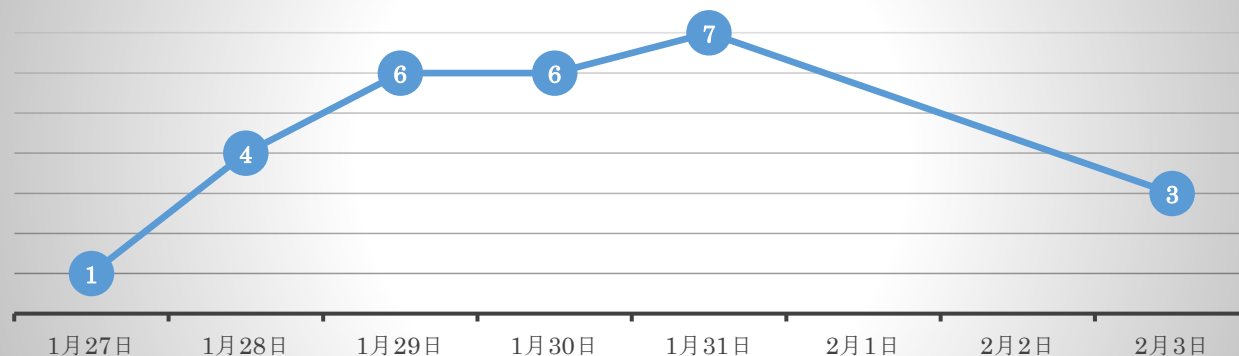
2月の目標は「関わり合って学びを深めよう」です。この目標を達成するために、授業ではぜひ「対話」にチャレンジしてください。よろしくお願いします。これでお話を終わります。

### 感染症に注意!!

朝会の中で養護教諭の増田が、感染症に注意するように話をしました。インフルエンザはもちろん、今、世界中に広まりつつある新型コロナウイルスにも気をつけなければいけません。豊浜小では、全員マスクを着用するように指導しています。これらの感染症は、日常から行っている、換気、うがい、手洗いを徹底することで予防できます。下のグラフは、先週のインフルエンザによる欠席者数の推移です。土日に感染した児童が週の中ごろに発症しています。土日の過ごし方にも気をつけ、御家庭でも感染症予防に御協力ください。



インフルエンザによる欠席者の推移



### 新指導要領の実施により来年度から変わること

学校便り 11月号にも掲載しましたが、来年度から新しい学習指導要領がスタートします。今回の校長の話にもあるように、授業の主役は子供たちで「対話」を重視していきます。御家庭でも授業について話題を出し、話を聞いてみてください。

#### ～来年度より外国語の指導が変わります～

これまで、小学校5・6年生では「外国語活動」という英語に慣れ親しむことを目標とした授業が週に1コマ程度（年間35単位時間）行われてきましたが、2020年度からは、それが「外国語」という教科に変わり、算数や国語、理科、社会と並んで、英語の基礎を身につけるための授業が行われる（年間70単位時間）ようになります。また、「外国語活動」の授業を新たに3・4年生で行う（年間35単位時間）ことになるので、全体として小学校における英語教育が拡充されることになります。※1単位時間は小学校では45分間です。